

Canon Autoboy Axl

PANORAMA
途中切り換え可

キヤノン製品のお買い上げありがとうございます。

カメラをご使用になる前にこの使用説明書をよくお読みになり、カメラを手に取りながら操作に慣れたうえで、正しくお使いください。

J

日本語版

使用説明書

取り扱
上の
他

目付
や
マ
ツ
セ
ー
ジ
を
入
れ
て
撮
る

カ
メ
ラ
の
機
能
を
使
い
こ
な
す

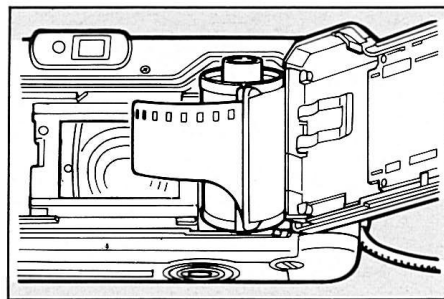
全
自
動
に
よ
る
撮
影

カ
メ
ラ
の
準
備

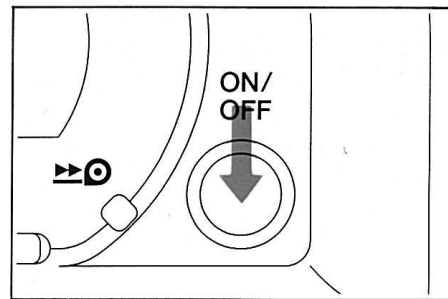
操作早わかり

表紙と裏表紙の各部の名称を図のように開いてご覧ください。

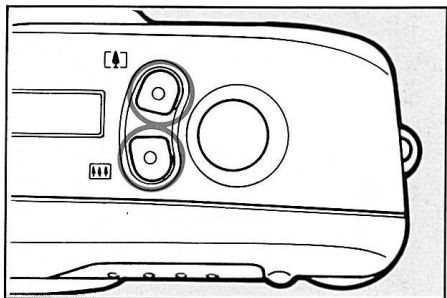
・本文中の(→■頁)は参照頁を示しています。



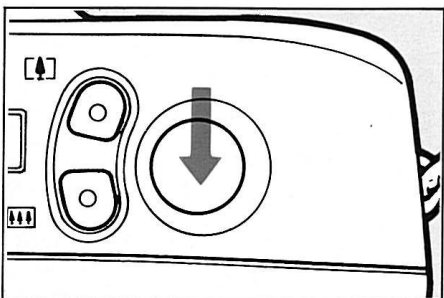
1 フィルムを入れます(→8頁)。



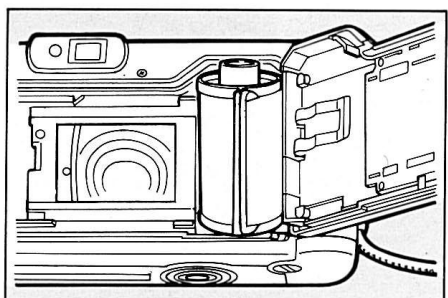
2 メインスイッチを押して電源を入れます(→6頁)。



3 ズームボタンで被写体の大きさをきめます(→10頁)。

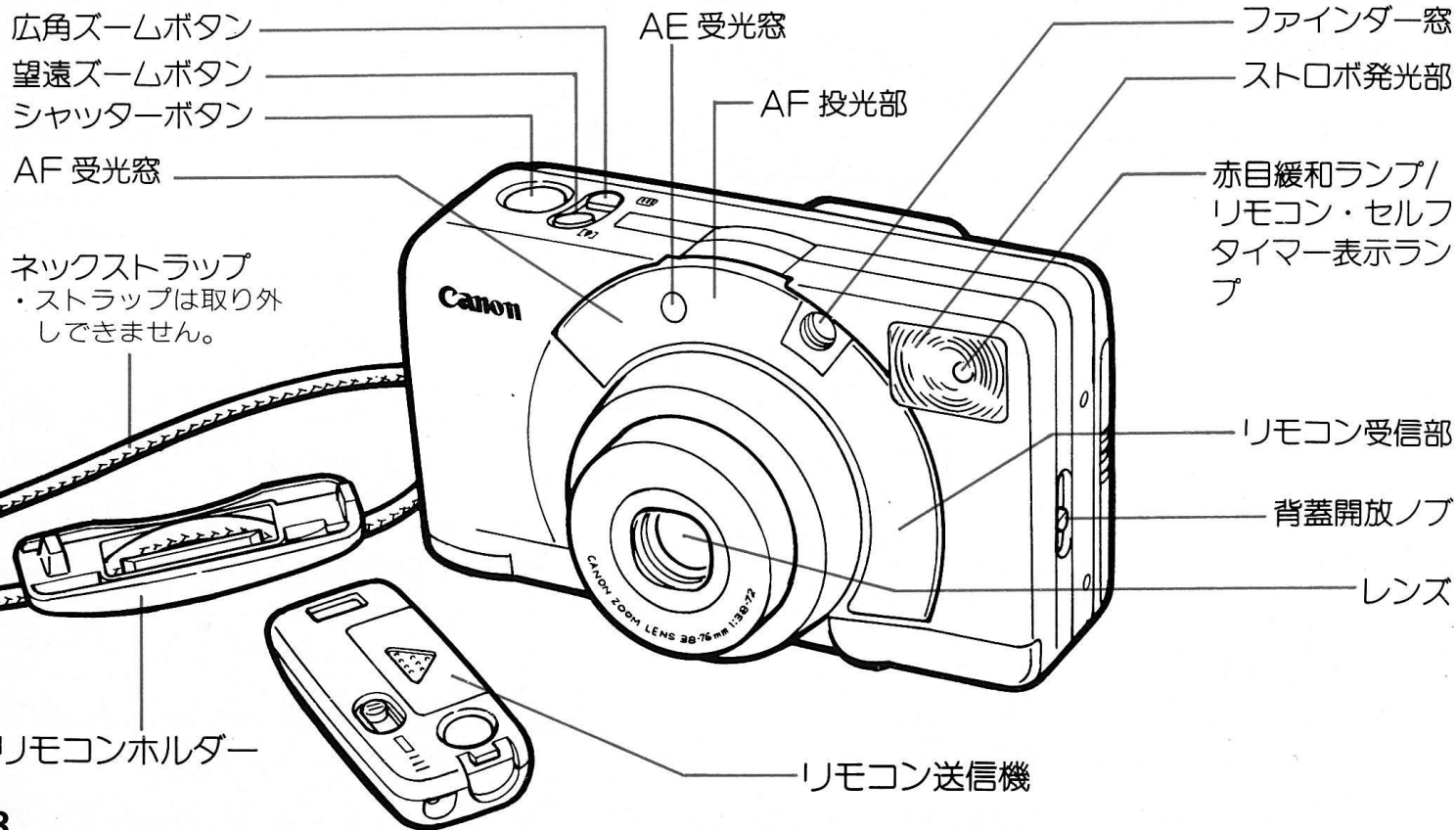


4 撮影します(→10頁)。



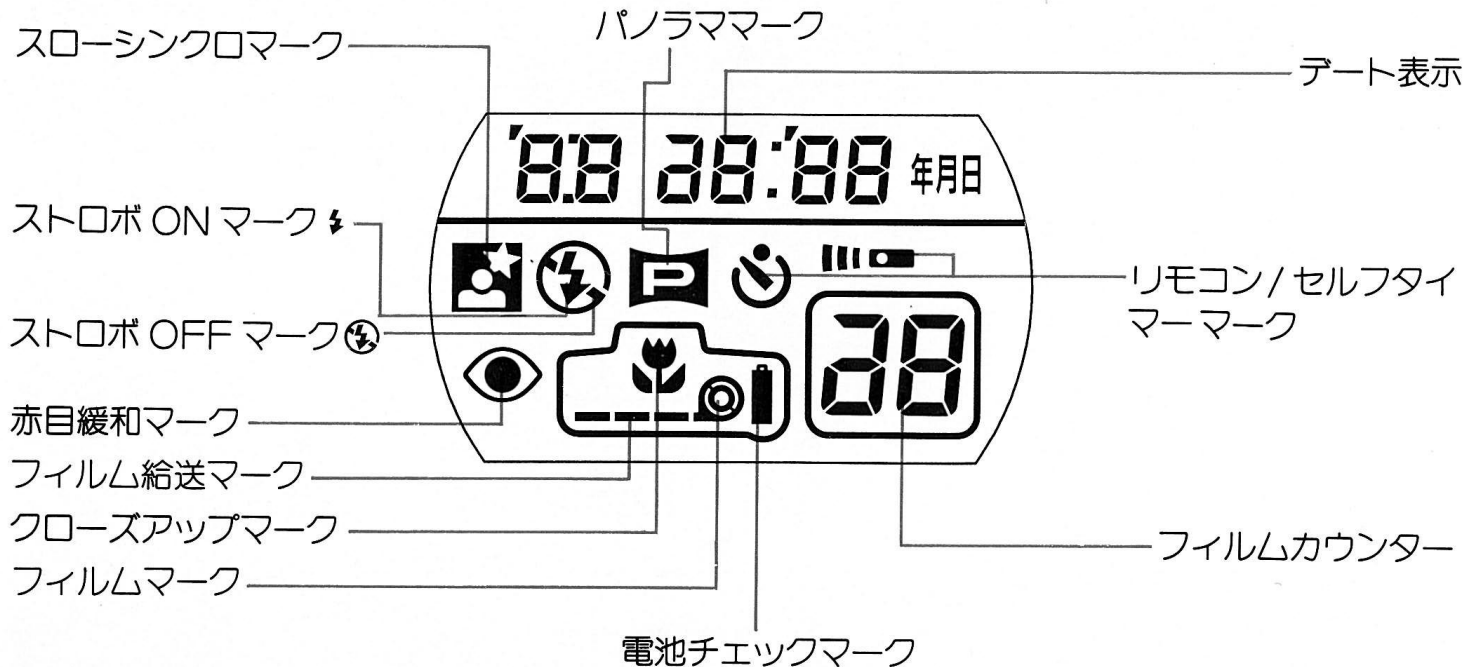
5 フィルムを取り出します(→12頁)。

各部の名称



表示パネル

この図は情報の全てを表示したものです。通常は必要な情報だけが表示されます。



カメラの準備

1. 電池をチェックします 6
 - 電池の交換 6
2. フィルムを入れます 8

全自動による撮影

1. 撮影します 10
 - 表示ランプについて 11
 - 赤目緩和撮影 11
2. フィルムを取り出します 12

カメラの機能を使いこなす

1. 撮影モードの変更 13
 - ストロボ OFF 撮影 14
 - ストロボ ON 撮影 14
 - スローシンクロ撮影 15
2. クローズアップ撮影 16
3. セルフタイマー撮影 17
4. リモコンの使い方 18
 - リモコンの電池交換 20
5. 一点測距撮影 21
6. パノラマ撮影 22

日付やメッセージを入れて撮る

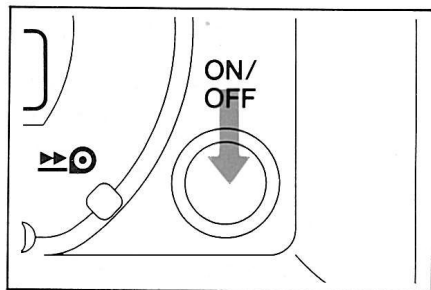
1. 日付/時刻の写し込み 23
 - 日付/時刻の修正 24
2. メッセージの写し込み 25

- 取り扱い上のご注意 27
- メッセージの書き換えを希望されるお客様へ 27
- 主要性能一覧 29
- カメラを修理に出す前に 31

カメラの準備 1. 電池をチェックします

カメラには専用のリチウム電池（CR123A）が2個入っています。メインスイッチを入れたとき表示パネルに **■** が表示されるのを確認してからカメラをご使用ください。

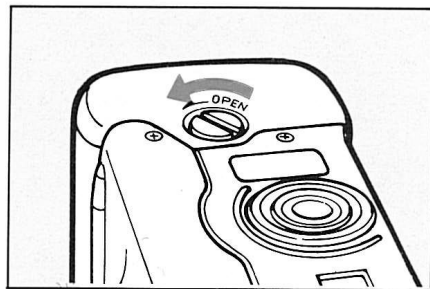
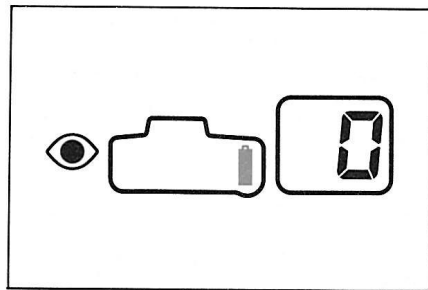
- ・表示パネルに **■** が点滅したときは新品電池を用意してください。点灯しない場合は新品の電池と交換してください。



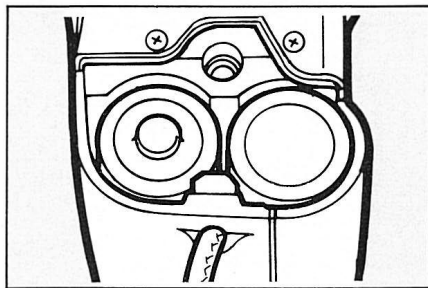
●電池の交換

電池は専用のリチウム電池（CR123A）を2個使用します。

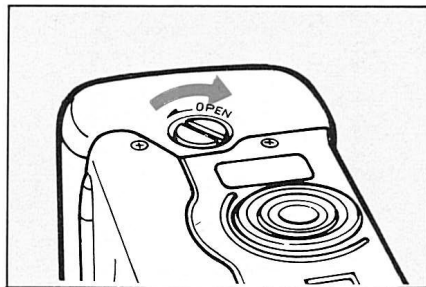
- ・電池を交換すると表示パネルの日付が「92.1.1」に変わりますので日付と時刻と写し込みモードを再設定します（→24ページ）。



- 1 硬貨などを利用して電池室蓋開閉ねじを矢印の方向に回し、電池室蓋を外します。



2 電池（CR123A）を図のような向きで電池室に入れます。



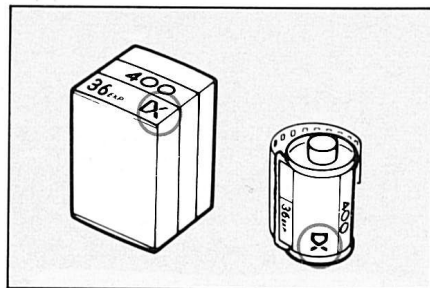
3 電池室蓋をカメラに取り付け、電池室蓋開閉ねじを矢印の方向に回して止めます。

【撮影可能本数】

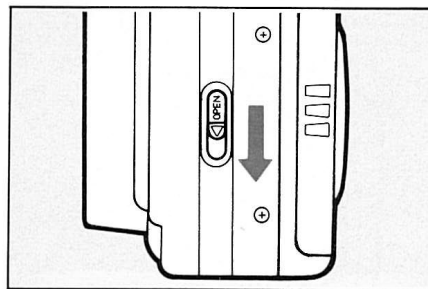
24枚撮りフィルム 約40本（ストロボ50%使用時/当社試験条件による）

- 撮影前には必ず電池をチェックしてください。
- ご旅行にお出かけのときや、写真をたくさん撮られるときは、万一のときに備えて予備の電池をご用意ください。特に海外では地域によって電池の入手が困難なことがあります。
- カメラを使用しないときは必ずメインスイッチを押してレンズカバーを閉じ、レンズをゴミやホコリなどから守ってください。

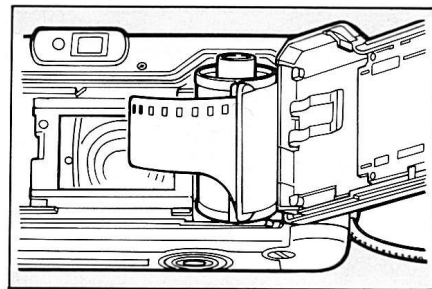
2. フィルムを入れます



DX マークのついたフィルムをお使いください。カメラが自動的にフィルム感度を読み取ってセットします。使用できるフィルム感度はISO 25~3200です。

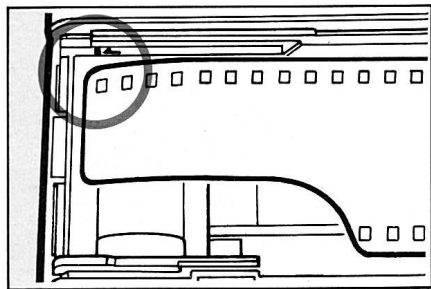


1 背蓋開放ノブを矢印の方向にスライドさせて背蓋を開きます。

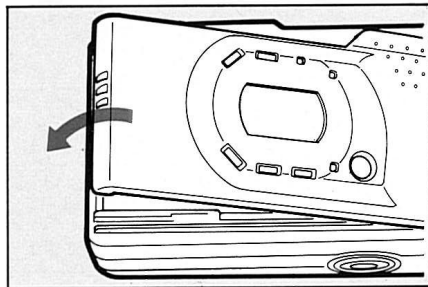


2 フィルムを図のような向きで入れます。

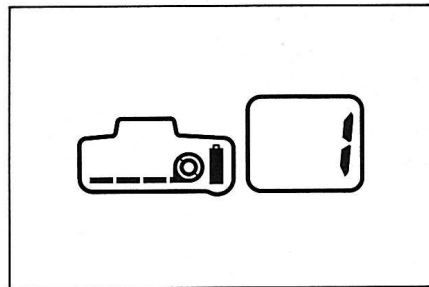
DX マークのついていないフィルム、またはフィルム感度ISO25（36枚撮り）のフィルムは自動セットされません。フィルムをフィルム室に入れ背蓋を閉じてから、フィルムカウンターに「1」が表示されるまでシャッターボタンを押してください。




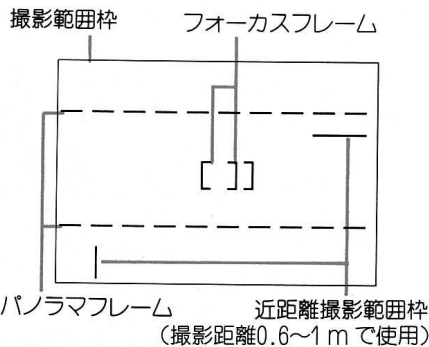
- 3** フィルムの先端を、フィルム先端位置マークまで引き出します。



- 4** フィルムガイドの間にフィルムが正しく位置していることを確認して背蓋を閉じます。
背蓋を閉じると自動的にフィルムが送られて1枚目にセットされます。

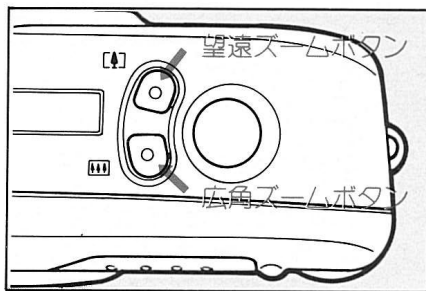


- ・フィルムがセットされると、表示パネルに --- およびフィルムカウンターの「1」が表示されます。
- ・--- およびフィルムカウンターに「0」が点滅したときはフィルムが正しくセットされていません。背蓋を開けてフィルムを入れ直してください。
- ・フィルムが正しくセットされていないとシャッターは切れません。



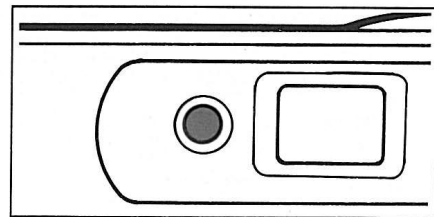
- 1** 構図を決めます。
被写体（写すもの）にカメラを向け、ファインダーをのぞきながらズームボタンを操作して被写体の大きさを決めます。

ガラス越しに撮影するときは、レンズ先端がガラスにぶつからない程度に近づけ斜めの位置から撮影してください。



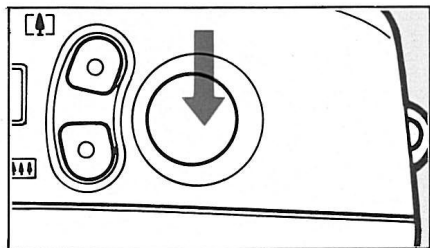
【広角ズームボタン】
レンズは広角になります。広角側ではより広い範囲を写すことができます。

【望遠ズームボタン】
レンズは望遠になります。望遠側では被写体をより大きく写すことができます。



- 2** フォーカスフレームを目安にして、軽くシャッターボタンを押します。ピントが合うと、緑ランプが点灯します。

- ・被写体までの距離が0.6m以下の場合は、緑ランプが点滅（4回/秒）してシャッターが切れません。
- ・フォーカスフレームからいくら被写体がずれた場合でもAIオートフォーカスにより、自動的にピントが合います。



3 そのままシャッターボタンから指をはなさず、静かに押してシャッターを切ります。

- ・暗いところや逆光のときはストロボが自動的に発光します。

ストロボの連動距離範囲

フィルム感度	広角38mm	望遠76mm
ISO100	0.6~3.5m	0.6~2.5m
ISO200	0.6~5m	0.6~3.5m
ISO400	0.6~7m	0.6~5m

(カラープリント用フィルム使用時)

●表示ランプについて (緑ランプ)

- ・点灯：ピント合わせ完了
(撮影 OK)
- ・ゆっくり点滅 (2回/秒)：
一点測距(撮影 OK)
- ・遅い点滅 (4回/秒)：
撮影範囲外警告、通常撮影では0.6 m より近い場合、クローズアップ撮影ではピント外警告
- ・早い点滅 (16回/秒)：手ぶれ警告 (ストロボ OFF モード時)/赤目緩和ランプ点灯 (全自動撮影およびスローシンクロ時の初期約1秒間)

●赤目緩和撮影

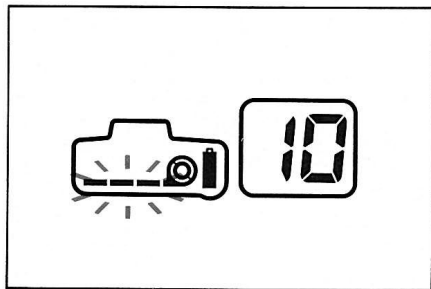
人物をストロボ撮影すると目が赤く写ってしまうことがあ

ります。これを赤目現象とい

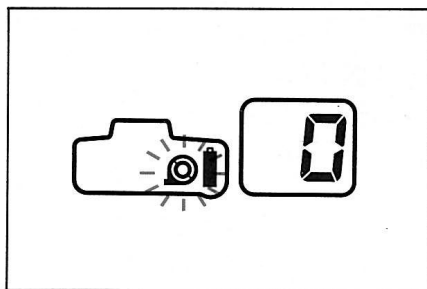
います。
このカメラは表示パネルに
●が表示されているとき、
赤目が出やすい状況になる
と、シャッターが切れる前に
赤目緩和ランプが人物を照明
して赤目現象を緩和します。


- ・シャッターボタンを押してから、約1秒後にシャッターが切れる状態になります。
- ・ストロボ ON およびストロボ OFF 撮影では赤目緩和ランプは点灯しません。
- ・写される人が赤目緩和ランプを注視すると、赤目緩和効果が上がります。

2. フィルムを取り出します



セットしたフィルムを使い終わると自動的にフィルムを巻き戻します。巻き戻し中は表示パネルに --- が点滅し、フィルムカウンターの数値が減っていきます。

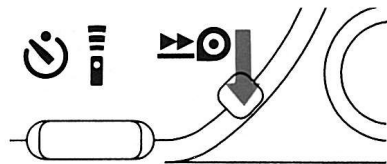


巻き戻しは終了と同時に自動的に止まり表示パネルに  が点滅します。

規定枚数以上撮影すると、最後のコマは現像処理でカットされてしまうことがあります。

フィルムの途中巻き戻し

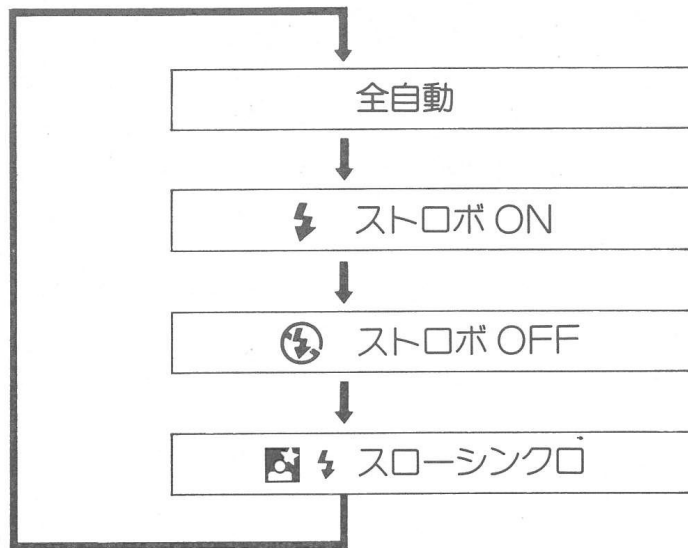
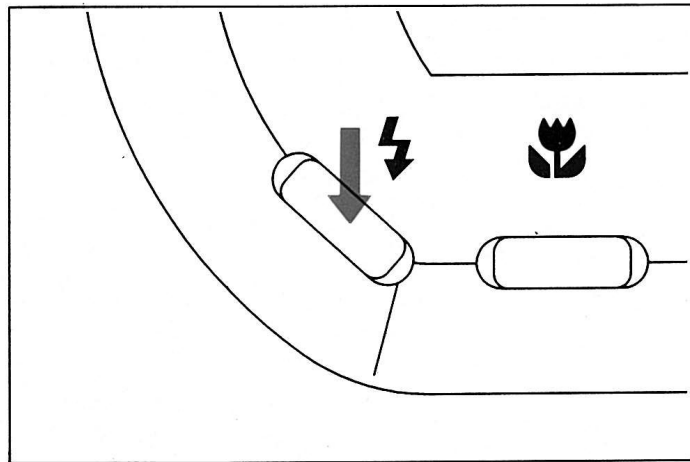
フィルムを最後まで撮り終える前に現像に出すときは、ストラップ止め具の突起を利用してフィルム途中巻き戻しボタンを押します。



カメラの機能を使いこなす

1. 撮影モードの変更

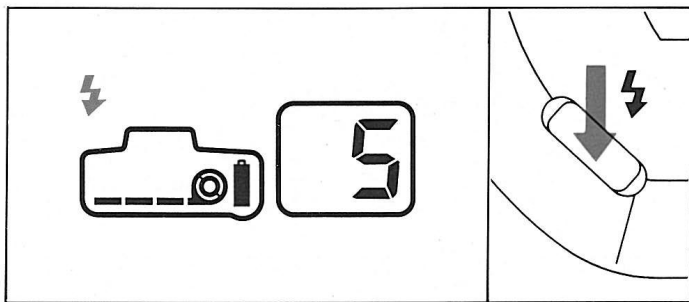
撮影モード切り換えボタンを押すと、次の順で撮影方法が切り換わり、表示パネルで確認することができます。



●ストロボ ON 撮影

撮影モード切り換えボタンを押して表示パネルに ⚡ を表示すると、撮影場所の明るさに関係なくストロボが発光します。

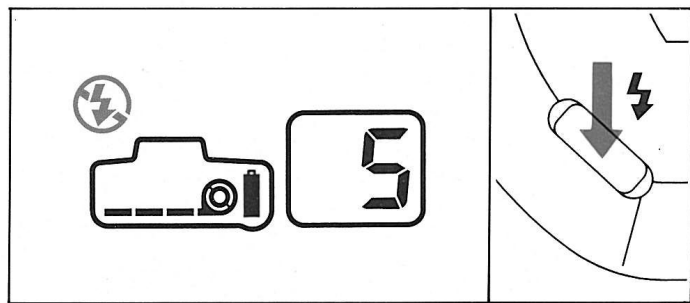
- ・強い光の下では被写体が部分的に影に入ってしまうたり、被写体に強い影ができたりすることがありますが、このような被写体の影をやわらげるときに使用します。
- ・ストロボの連動距離範囲は全自動撮影の場合と同じです (→11頁)。





●ストロボ OFF 撮影

撮影モード切り換えボタンを押して表示パネルに (⚡) を表示するとストロボが発光しなくなります。

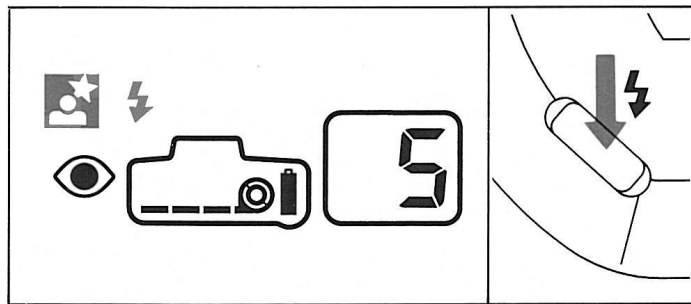
- ・ストロボ撮影が禁止されている場所での撮影、室内照明を利用したの撮影、夜景などの撮影に使用します。
- ・暗い場所でのストロボ OFF による撮影は、シャッタースピードが遅くなります。緑ランプが手ぶれ警告の点滅をしたときは、カメラをしっかりした台の上に置くか三脚をご利用ください。



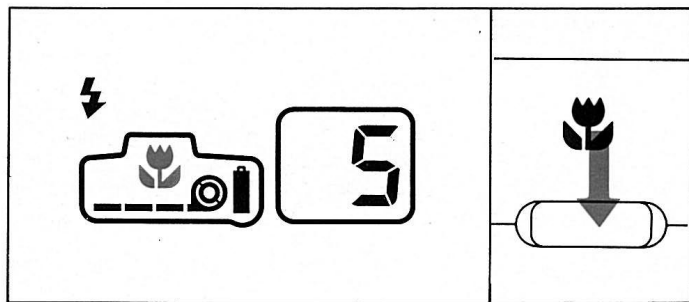
●スローシンクロ撮影

撮影モード切り換えボタンを押して表示パネルに   を表示すると、ストロボ発光と遅いシャッタースピードがセットされます。

- ・夕暮れや夜景などを背景にして人物撮影をするときに使用します。
- ・手ぶれ写真を防ぐために、カメラをしっかりとした台の上に置くか、三脚をご利用ください。
- ・ストロボの連動距離範囲は全自動撮影の場合と同じです (→11頁)。



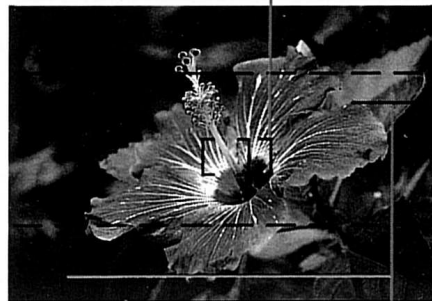
2. クローズアップ撮影



クローズアップボタンを押して表示パネルに🌸を表示します(撮影距離0.45 m)。シャッターボタンを軽く押しながら被写体に近距離フォーカスフレームを合わせて距離をはかります。撮影距離が合うと緑ランプが点灯します(撮影OK)。シャッターボタンをさらに押して撮影します。

- ・撮影できる距離以外では、緑ランプが点滅(4回/秒)してシャッターが切れません。
- ・クローズアップ撮影ではストロボが発光します。

近距離フォーカスフレーム



近距離撮影範囲枠

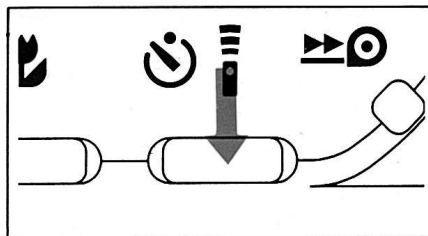
- ・ファインダー内に表示されている近距離撮影範囲枠内のみが撮影領域になります。近距離フォーカスフレームでピントを合わせてください。
- ・クローズアップ撮影を解除するには再度クローズアップボタンを押します。
- ・1回撮影するとクローズアップ撮影は自動的に解除されます。
- ・クローズアップでパノラマ撮影はできません。

3. セルフタイマー撮影

- セルフタイマー撮影のときは、カメラをしっかりとした台の上に置くか、三脚をご利用ください。

1 カメラをセットします。

カメラの直前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピントがぼける原因となります。



2 リモコン/セルフタイマーボタンを押します。

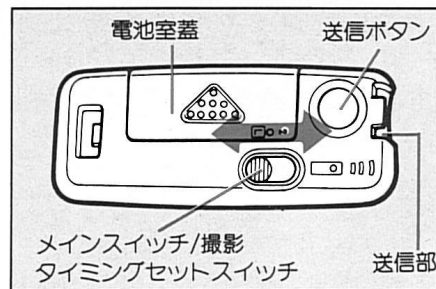
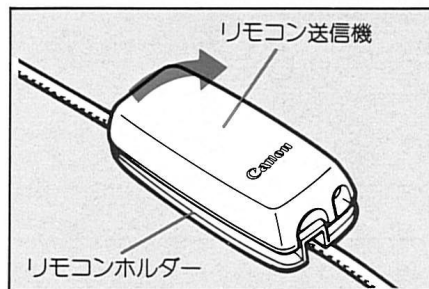
- 表示パネルに \odot \equiv が8分間表示されます。セルフタイマー撮影は \odot \equiv が表示されている間、有効です。
- 再度リモコン/セルフタイマーボタンを押すと、その時点でセルフタイマー撮影は解除されます。

3 構図を決めシャッターボタンを押して撮影します。

- リモコン/セルフタイマー表示ランプが点滅を始め(1回/秒)、約10秒後にシャッターが切れます。シャッターが切れる2秒前になるとリモコン/セルフタイマー表示ランプの点滅がさらに速く(4回/秒)なります。ただし赤目緩和機能が作動すると、シャッターが切れる2秒前からランプが点灯します。
- フィルムカウンターの表示がタイマー表示に変わり、シャッターが切れるまで1秒ずつカウントダウンします。

4.リモコンの使い方

- ・リモコン撮影の際は、カメラをしっかりとした台の上に置くか、三脚をご利用ください。
- ・リモコンモードをセットして8分以内に送信ボタンを押せば、リモコン撮影を続けて行うことができます。



リモコン撮影可能範囲

	正面	斜め
広角	約5 m	約3.5m/左右25°、 上下17.5°
望遠	約5 m	約3.5m/左右14°、 上下9.5°

1 リモコン送信機をホルダーから外します。

- ・取り付けるときは、リモコン送信機の下部をリモコンホルダーのフックにかけ、上部を押しつけます。

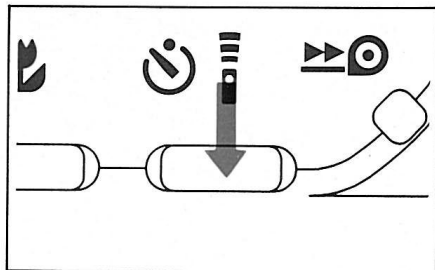
リモコン送信機を使用しないときは電池の消耗を防ぐため、撮影タイミングセットスイッチを「L」にしてください。

2 リモコン送信機の撮影タイミングセットスイッチで撮影タイミングを選びます。

- 2：送信ボタンを押してから2秒後にシャッターが切れます。
- ：送信ボタンを押すと同時にシャッターが切れます。

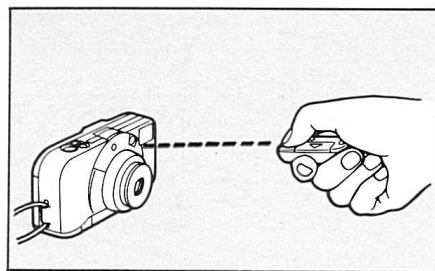
L：スイッチ OFF

3 カメラをセットし構図をきめます。



4 リモコン/セルフタイマーボタンを押します。

- 表示パネルに が 8 分間表示されます。
リモコン撮影は が表示されている間有効です。
- 再度リモコン/セルフタイマーボタンを押すと、その時点でリモコン撮影は解除されます。



5 リモコン送信機の送信部をカメラのリモコン受信部に向けて、送信ボタンを押します。

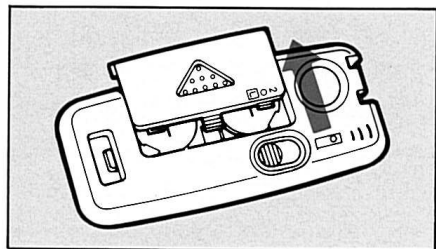
- リモコン・セルフタイマー表示ランプが点滅し、シャッターが切れてフィルムが巻き上がります。
撮影タイミングが「●」のとき：1回点滅
撮影タイミングが「2」のとき：4回/秒の速さで2秒間点滅

リモコン受信部が極端な逆光下にあったり、撮影距離が遠すぎたりすると、リモコン撮影ができないことがあります。そのようなときには、セルフタイマーを使用してください。

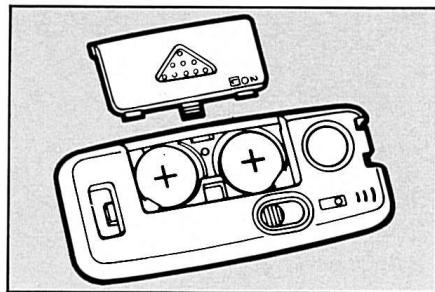
リモコン撮影時に、カメラの近くにインバーター式蛍光灯があると、蛍光灯の影響でカメラのリモコン機能が誤動作することがあります。このようなときはカメラを蛍光灯から遠ざけて使用してください。

●リモコンの電池交換

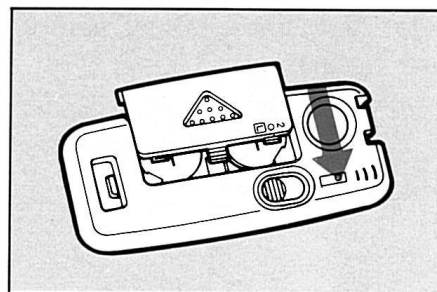
リモコン撮影でシャッターが切れなくなったら電池を交換します。電池を交換するときは2個とも新品の電池と交換します。電池はボタン型リチウム電池 CR1220、3V を2個使用します。



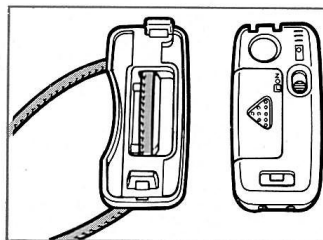
- 1** 電池室の蓋を矢印の方向にスライドさせて外します。



- 2** 電池を、図のように+側が手前になるように電池室に入れます。



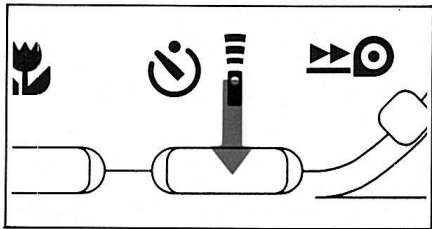
- 3** 電池室の蓋を元に戻します。



リモコンホルダーをストラップに取りつけることができます。

5. 一点測距撮影

小さなものや被写体を極端にファインダーの端に配して撮影するとき、ピントを合わせる位置をフォーカスフレームの中央部分に限定して撮影する一点測距撮影ができます。



1 リモコン/セルフタイマーボタンを約2秒間押します。

- ・ 緑ランプが2回点滅して一点測距に切り換わります。



2 ピントを合わせる被写体にフォーカスフレームを合わせ、軽くシャッターボタンを押します。

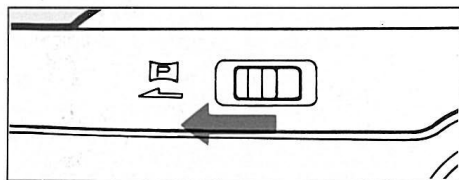
- ・ 緑ランプが点滅(2回/秒)して一点測距に切り換わります。



3 シャッターボタンを軽く押したまま、構図を決めてシャッターを切り撮影します。

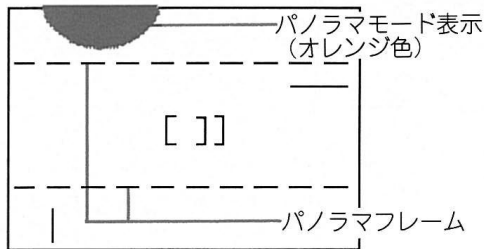
- ・ 1回撮影すると一点測距は自動的に解除されます。

6. パノラマ撮影

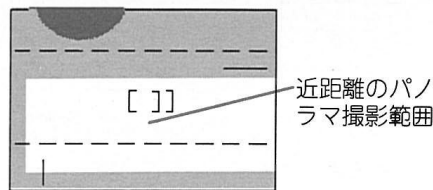


1 パノラマ／標準サイズ切り換えノブをパノラマモードに切り換えます。

表示パネルに **P** が表示され、ファインダー内左上にオレンジ色の「パノラマモード表示」が表示されます。「パノラマモード表示」の周囲がぼやけてみえますが故障ではありません。



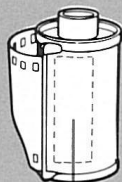
2 ファインダー内に「パノラマモード表示」が表示されているのを確認し、パノラマフレーム内で構図を決め撮影します。
 ・「パノラマモード表示」は写真には写りません。



1mより近い距離で撮影すると撮影範囲が全体に下にずれますので構図にご注意ください。

・パノラマでのクローズアップ撮影はできません。
 ・日付／時刻／メッセージを写し込んで撮影しても（→23頁）プリントされません。

パノラマサイズで撮影した場合の現像・プリントは、通常の現像・プリントとは異なります。右の表に従って添付のシールを図のように貼ってください。DXコードおよびバーコードのついているフィルムの場合はシールがDXコードおよびバーコードにかからないようにご注意ください。



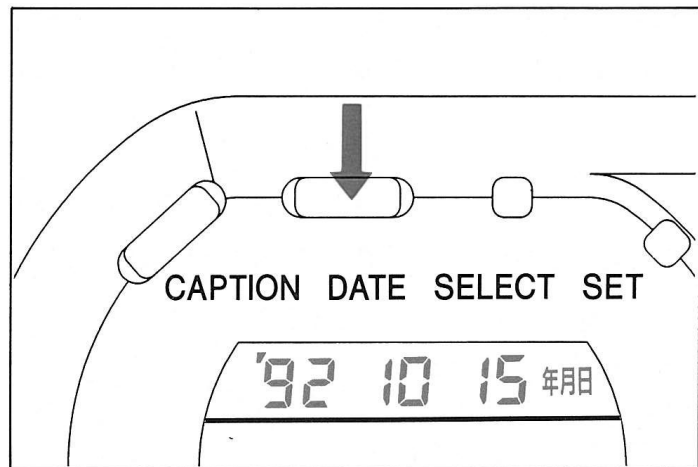
パノラマシール
貼り付け位置

	フィルムの使用状況	お店への依頼方法	シール
混在	標準サイズ／パノラマサイズの切り換えを行なった	パノラマモード、標準モードの両方で撮影しました	
全数パノラマ	パノラマサイズのみ使用	パノラマモードで撮影しました	

・標準サイズで撮影されたフィルムからパノラマプリントはできません。
 ・パノラマプリントでは、フィルムに写っていてもプリントされない部分があります。
 ・標準とパノラマとではプリント日数、料金が異なります。詳しくはお店でおたずねください。
 ・パノラマシールがなくなりましたら、キヤノンサービスセンターへお問合わせください。

日付やメッセージを入れて撮る 1. 日付/時刻の写し込み

デート表示切り換えボタン(DATE)を押して、写真に写し込む日付/時刻の表示を選びます。デート表示切り換えボタンを押すたびに表示パネルは次のように変わります



- DX マークつき12, 20, 24, 36枚撮り以外のフィルム最後の1コマには、日付/時刻/メッセージが完全に写し込まれないことがあります。



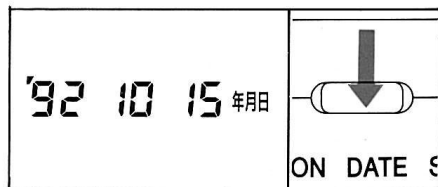
- 下記の状態で電池を出し入れすると年月日の写し込み形態を変えることができます。

標準モード状態 → '92年10月15日

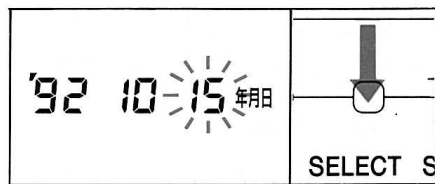
パノラマモード状態 → '92 10 15

●日付/時刻の修正

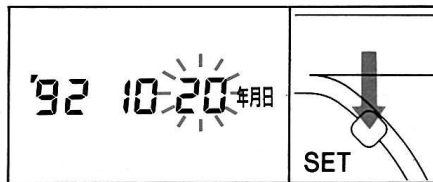
2029年までのオートカレンダーが組み込まれています。電池を交換したときは日付/時刻をセットし直します。



- 1** デート表示切り換えボタン (DATE) を押して、表示パネルに修正する日付/時刻を表示します。



- 2** 修正位置選択ボタン (SELECT) を押して修正する数字を点滅させます。



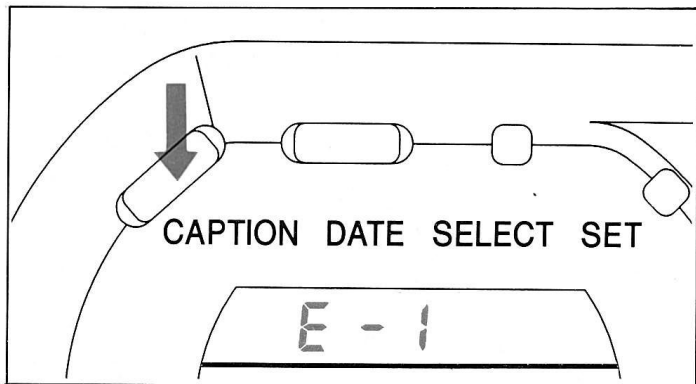
- 3** 数値セットボタン (SET) を押して正しい数字をセットします。

- 数値セットボタンは1回押しごとに数字は一つ進み、押し続けると連続して進みます。
- ボタンを押すときはストラップ止め具の突起を利用します。

- 4** 点滅している数字がなくなるまで、修正位置選択ボタン (SELECT) を押します。点滅している数字がなくなれば、セットは完了です。

2. メッセージの写し込み

メッセージ表示切り換えボタン (CAPTION) を押して写し込むメッセージを選びます。メッセージ表示切り換えボタン (CAPTION) を押すたびに表示パネルは次のように変わります。

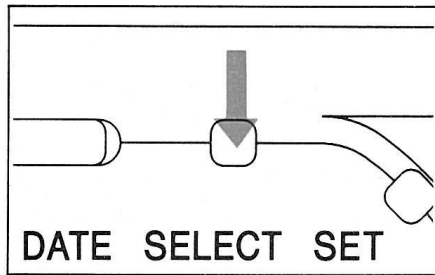


- 日付/時刻の写し込みがセットされていても、メッセージの写し込みをセットすると、一時的にメッセージの写し込みに切り換わります。
- メッセージの写し込みは1枚撮影するごとに日付/時刻の写し込みに切り換わります。

表示パネル(英語)メッセージ内容



修正位置選択 (SELECT) ボタンを押すと各メッセージの表示を英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語の順番で変更することができます。



- 各言語の6番目のメッセージは英語と同じ内容が表示されます。

フランス語のメッセージ内容

F-1 表示 ♥ JE T'AIME ♥
 F-2 表示 MERCI!
 F-3 表示 MEILLEURS VOEUX
 F-4 表示 BON ANNIVERSAIRE
 F-5 表示 BRAVO!
 (F-6 表示 A HAPPY NEW YEAR)

ドイツ語のメッセージ内容

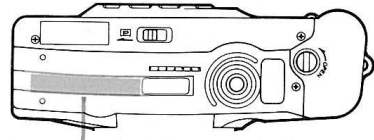
D-1 表示 ICH LIEBE DICH ♥
 D-2 表示 DANKE SCHÖN!
 D-3 表示 EIN FROHES FEST
 D-4 表示 ALLES GUTE!
 D-5 表示 VIELE GRÜßE
 (D-6 表示 A HAPPY NEW YEAR)

スペイン語のメッセージ内容

ES-1 表示 ♥ TE ♥ AMO ♥
 ES-2 表示 MUCHAS GRACIAS!
 ES-3 表示 FELIZ NAVIDAD
 ES-4 表示 FELIZ CUMPLEAÑOS
 ES-5 表示 FELICIDADES
 (ES-6 表示 A HAPPY NEW YEAR)

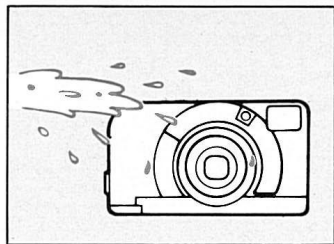
カメラを最寄りのキヤノンサービスセンターにお持ちいただければ、英語メッセージのうち「E-6」のメッセージを62文字の中から任意の16文字（ご自分の名前など）で書き換えることができます（有料）。27頁「メッセージの書き換えを希望するお客様へ」を参照してください。

- 各国語のメッセージシールが付属しています。カメラ底部に貼り付けておくと便利です。

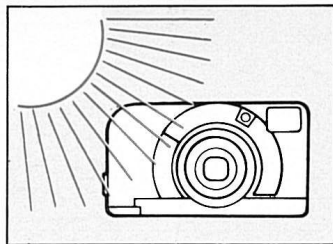


メッセージ貼り付け位置

取り扱い上のご注意



◆このカメラは防水構造になっていませんので、雨天下や水中では使用できません。万一水に濡れてしまったときは、早めに最寄りのキヤノンサービスセンターにご相談ください。また水滴がついたときは乾いたきれいな布で、潮風にあたったときは固くしぼったきれいな布でよくふきとってください。



◆直射日光下の車の中などは予想以上に高温になります。カメラの故障の原因となることがありますのでこのような中にカメラを放置しないでください。

◆カメラには高電圧回路が内蔵されています。危険ですので絶対に自分で分解しないでください。

メッセージの書き換えを希望されるお客様へ

英語表示のメッセージ E6 “A HAPPY NEW YEAR” を次の62文字の中の任意の16文字で書き換えることができます。書き換えをご希望の方はこの用紙に書き換えの内容を書き込んでカメラと一緒に日本国内のキヤノンサービスセンターにお持ちいただくか、お送りください。書き換えにかかる費用および期間はサービスセンターにお問い合わせください。

書き換えに使用できる文字は次の62文字です。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W
X Y Z_(スペース) ' ! :
年 月 日 ♥ ' S Ñ
Ā-Ē Ç Ä Ö Ü Ī Ū ♪♪♪♪ c β.(ピリオド)
・「♥」と「'S」は2文字分必要となります。

切り離してお使いください

次のまずに文字を記入してください。

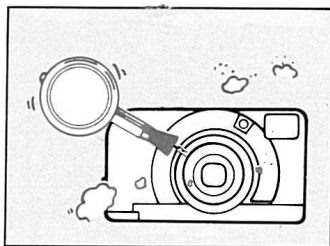
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--

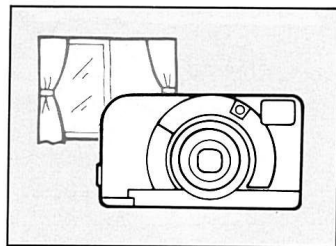
- ・メッセージの1～5を書き換えることはできません。
- ・16文字を超えて書き換えることはできません。

フリガナ	性別	年齢	1.未婚 2.既婚
お名前	1.男 2.女	歳	
ご住所(〒 -)			
TEL(- -)			

切り離してお使いください



◆レンズやフィルム室内にゴミがついているときは、市販のプロアーブラシで吹き飛ばすだけにしてください。カメラボディおよびレンズは有機溶剤を含むクリーナーなどでふかないでください。特に汚れがひどいときは、最寄りのキャノンサービスセンターにご相談ください。



◆カメラを長期間使用しないときは、風通しが良く、涼しい乾燥した場所に保管してください。

主要性能一覽

型式：ズームレンズ内蔵35mmレンズシャッター式 AF 全自動カメラ
画面サイズ：24×36mm（標準サイズ）、13×36mm（パノラマサイズ）
レンズ：キヤノンレンズ38~76mm F3.8~F7.2
焦点調節：評価測距アクティブオートフォーカス（一点測距可能）
撮影距離：0.6m~∞（クローズアップ時 0.45m）
シャッター型式：絞り兼用プロگرام式電磁駆動シャッター
ファインダー：実像式ズームファインダー
倍率：広角 0.43倍 望遠 0.75倍
ファインダー情報：ファインダー内：撮影範囲枠/近距離撮影範囲枠/フォーカスフレーム/近距離フォーカスフレーム/パノラマフレーム
パノラマモード表示
ファインダー接眼部：緑色LED（撮影OK/近距離警告/クローズアップ距離外警告/手振れ警告/赤目緩和/一点測距撮影OK）
フィルム装填：自動（自動空送り付き）
フィルム巻き上げ：自動
フィルム巻き戻し：自動、途中巻き戻し可能
フィルムカウンター：フィルムの進行に連動、フィルム空送り不良表示あり
セルフタイマー：電子制御式、シャッターボタンにより作動、約10秒後リリース、赤目緩和ランプ点滅表示、フィルムカウンターに残り秒時カウントダウン
測光作動範囲（ISO 100）：全自動モード/ストロボ ON モード；
広角；1/45 F3.8~1/300 F21（EV9.5~17）
望遠；1/125 F7.2~1/200 F25（EV12.3~17）
ストロボ OFF/スローシンクロ
広角；2秒 F3.8~1/300 F21（EV3~17）
望遠；2秒 F7.2~1/200 F25（EV5~17）
露出補正：ストロボ OFF モードで逆光のとき、+1.5段の自動露出補正
フィルム感度：ISO25~3200、DX コードにより1段ごとに自動セット
内蔵ストロボ：低輝度、逆光時自動発光式内蔵型ズームストロボ、赤目緩和ランプ内蔵

ストロボ連動範囲：広角；0.6~3.5m

望遠；0.6~2.5m

（カラープリント用フィルム ISO100使用時）

ストロボ充電時間：約2秒

ストロボ切り換え：撮影モード切り換えボタンによる

①全自動モード；低輝度、逆光時自動発光

②ストロボ OFF モード；発光禁止

③ストロボ ON、スローシンクロモード；常時発光

写し込み機能：方式；液晶表示式 クォーツデジタル時計内蔵オートカ

レンダー（西暦2029年まで、うるう年自動修正）

時計機構；常温20°C下で月差±120秒以下

写し込みデータ；テート（4通り）、メッセージ（4カ国語各6通り）

文字形状；5×7のドットマトリックスによる

写し込みの色；オレンジ色

リモートコントロール機能：赤外光を利用した専用リモコンシステム

送信ボタンにて作動、即リリースと2秒後リリースの切り換え可能

作動距離範囲；約5m以内

寿命；約20,000回送信可能

電源；リチウム電池 CR123A、3V、2個（写し込み機能と共用）

パノラマ撮影；パノラマ/標準サイズ切り換えノブにより随時撮影可能

撮影可能本数；24枚撮りフィルム 約40本（ストロボ50%使用時）

バッテリーチェック；電池チェックマークにより3段階表示

点灯 → 点滅 → 消灯

大きさ；128（幅）×68.5（高さ）×55.8（奥行）mm

重量；280g（ボディのみ）

・ここに記載のデータはすべて当社試験基準によります。

・都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

緑ランプ（撮影 OK/ 手振れ警告/
近距離警告/クローズアップ警告
一点測距撮影 OK/ 赤目緩和ラン
プ点灯警告）

メッセージ表示切り
換えボタン (CAPTION)

撮影モード切り換えボタン

クローズアップボタン

リモコン/セルフタイマ
ーボタン

パンorama/標準サイズ切り
換えノブ

フィルム途中巻き戻し
ボタン

ファインダー

デート表示切り換えボタン

修正位置選択ボタン

数値セットボタン

背蓋

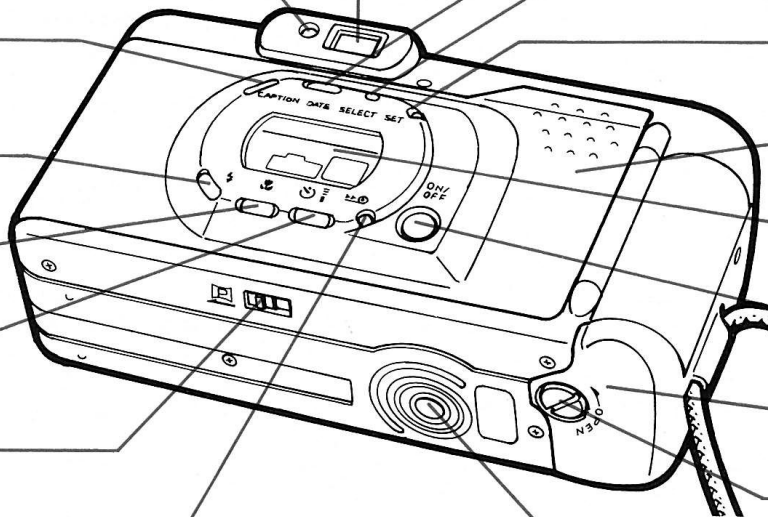
表示パネル

メインスイッチ

電池室蓋

電池室蓋開閉ねじ

三脚ねじ穴



カメラを修理に出す前に

次の表を参考にしてチェックしても、症状に変化がなければ修理にお出してください。

症状	原因	解決方法	参照頁
1. 表示パネルに表示がない	①電池が消耗している ②電池が逆向きにはいつている	①電池を交換する ②電池を正しく入れ直す	6 6
2. シャッターが切れない	①メインスイッチが OFF になっている ②電池が消耗している ③フィルムが正しくセットされていない（フィルム給送マークが点滅） ④巻き戻されたフィルムがカメラに入っている（フィルムマークが点滅）	①メインスイッチを ON にする ②電池を交換する ③フィルムを正しく入れ直す ④フィルムを取り出して新しいフィルムをセットする	6 6 8 8
3. リモコン撮影ができない	①撮影距離が遠すぎる ②リモコン/セルフタイマーボタンを押してから8分以上経過した ③逆光状態である ④カメラあるいはリモコン送信機の電池が消耗している	①近寄って撮るかセルフタイマーを使用する ②再度リモコン/セルフタイマーボタンを押す ③セルフタイマー撮影に切り換える ④電池を交換する	17 18 17 6
4. 写真がぼけて写っている	①シャッターを切るときに AF 受光窓をおおっていた ②セルフタイマー撮影などで、カメラの直前に立ってシャッターボタンを押した ③シャッターボタンを押すときにカメラが動いた（手ぶれ）	①髪や指などで受光窓をおおわないように気をつける ②カメラの直前に立たないように気をつける ③シャッターボタンを静かに押す	— 17 —
5. 表示パネルに「E」とフィルム給送マークが点滅している	リセット必要時の自己診断表示	メインスイッチを押してみる（点滅が消えないときは修理にお出してください）	—

Canon

キヤノン株式会社 キヤノン販売株式会社

◎カメラ相談室(製品取り扱い方法ご相談窓口)

東 京・〒108 東京都港区三田3-12-15 (東急三田ビル8F) ☎(03)3455-9353

◎サービスセンター・サービスステーション(修理サービスご相談窓口)

札 幌・〒060 札幌市北区北七条西1-1-2 (SE山京ビル5F) ☎(011)728-0665

仙 台・〒980 仙台市青葉区一番町1-1-30 (やまと生命ビル2F) ☎(022)266-9851

新 潟・〒950 新潟市紫竹山1-10-26 ☎(025)246-8765

大 宮・〒330 大宮市桜木町4-247 (OSビル1F) ☎(048)649-1450

千 葉・〒280 千葉市末広2-13-2 ☎(043)268-5261

銀 座・〒104 東京都中央区銀座5-9-9 ☎(03)3573-7834

新 宿・〒163 東京都新宿区西新宿2-6-1 (住友三角ビル地下1F) ☎(03)3348-4725

横 浜・〒220 横浜市西区北幸2-6-26 (HI横浜ビル) ☎(045)312-0211

静 岡・〒420 静岡市常盤町2-13-1 (住友生命静岡常盤町ビル) ☎(054)253-9010

名古屋・〒450 名古屋市中村区名駅3-21-7 (三交ビル1F) ☎(052)563-6822

金 沢・〒921 金沢市玉鉾2-266 ☎(0762)91-8710

京 都・〒604 京都市中京区烏丸通二条下ル秋野の町513 (京都第一生命泉屋ビル) ☎(075)255-5953

梅 田・〒530 大阪市北区中崎西2-4-12 (梅田センタービル) ☎(06)373-8181

神 戸・〒651 神戸市中央区雲井通り4-2-2 (神戸いすゞリクルートビル8F) ☎(078)291-0535

岡 山・〒700 岡山市柳町2-6-25 (朝日生命岡山柳町ビル3F) ☎(0862)21-8678

広 島・〒730 広島市中区大手町3-7-5 (広島パークビル) ☎(082)240-6712

高 松・〒760 高松市紺屋町9-6 (高松大同生命ビル6F) ☎(0878)23-4681

福 岡・〒812 福岡市博多区美野島1-2-1 (キヤノン販売福岡ビル3F) ☎(092)411-4173

沖 縄・〒900 那覇市松山1-1-19 (安田生命那覇ビル8F) ☎(098)867-2104

◎カメラ技術センター(修理サービスご相談窓口)

東 京・〒140 東京都品川区東品川1-2-5 (東信天王洲ビル5F) ☎(03)3450-2731

大 阪・〒540 大阪市中央区森ノ宮中央2-5-3 (大阪研修センター1F) ☎(06)941-1076

◎営業所

大 分・〒870 大分市城崎町1-3-31 (富士火災大分ビル) ☎(0975)37-4117

◎休業のご案内

新宿(第3木曜日)銀座・梅田(日曜日、祝日)その他(土・日曜日、祝日)

アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために不可欠な部品)は、日本国内において、7年間を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましてはお買い上げ店または、裏表紙記載の当社サービス機関にお問い合わせください。
3. 修理品をご送付の場合は、見本のフィルムを添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。